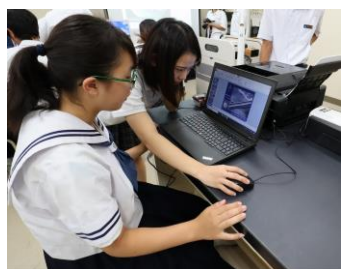


### 中学生体験入学開催

7月14日(土)ならびに8月4日(土)の両日、平成30年度中学生体験入学及び学校説明会が行われ、中学生230名・保護者130名・中学校教職員10名の合計370名(延べ人数)の方々が来校しました。今回の中学生体験入学では、本校6学科から2つの学科の体験実習を行うことで工業高校への理解を深め、興味・関心につながることを目的としました。7月14日に行った第1回体験入学では、希望する学科を1つ選んで体験実習を行いました。8月4日の第2回体験入学は、希望学科を2つ選んでの体験実習となりました。また、



第1回体験入学に参加し、さらに他の学科も体験してみたいということで第2回体験入学に参加した中学生など、本校及び工業高校に興味を持った中学生が数多くいました。9月に入り、進路の方向性を決める大切な時期になりました。10月13日(土)には、中学生とその保護者対象の学校説明会を予定していますが、今回の体験入学が中学3年生の進路選択の参考になれば幸いです。

### 全国溶接大会に出場

8月4日(土)に愛媛県新居浜市にある新居浜市ものづくり産業振興センターで行われた全国選抜高校生溶接技術競技会 in 新居浜に電子機械系列3年の志村学樹君が東部地区(関東甲信越)の代表として出場しました。この大会は昨年に続き、愛媛県が主催をして全国各地の代表16校32名が参加して行われました。被覆アーク溶接部門と半自動アーク溶接部門に分かれて競技が行われ、本校の志村君は被覆アーク溶接部門でエントリーをしました。競技課題は、



造船や配管関係の仕事に活用され、JIS検定の裏板無しという課題であり、よって課題は造船に需要がある地区が有利になるのではないかと予想されました。また、昨年よりも10分競技時間が短縮され20分で競うことになりました。結果は、被覆アーク溶接部門が20名で競われて志村君は3位に入賞することができました。80点満点中の78点という採点でした。減点が申告



ミスの一2点だけだっただけに、日本一にあと一步という悔しさを味わう結果となりました。しかし、山梨県のレベルの高さと「韭崎工業」という名を全国の方々に更に知っていただけたと実感することができました。今回の全国大会のために遠方にも関わらず参加できるように支援して下さった山梨県鉄構溶接協会、学校関係者の皆様には本当に感謝しております。ありがとうございました。

## 若年者ものづくり競技会に出場

8月2日(木)に石川県で行われた第13回若年者ものづくり競技会電気工事部門に参加しました。参加者は20歳未満の高校生・専門学校生・大学生など全国から25名のエントリーがあり、本校3年生佐野光君が関東地区の代表として出場しました。与えられた課題を2時間で仕上げ減点方式での採点となります。採点項目は「正確に綺麗で早く安全に」が大きな観点となり、それぞれの電気工事の施工法によって細かい減点がされています。佐野君は夏休み初日から1日



6時間以上課題に取り組み、8日間という短い時間でありましたが、課題を2時間以内で仕上げることが出来るようになりました。7年前にも本校生徒が、この大会に出場しその時は準優勝でしたので、今回は優勝目指して大会に臨みました。大会当日は参加者の中でも2番目に早く仕上がりましたが、自動点滅器に相当する端子台のネジを破損してしまいその減点が大きく、全体では8位相当の敢闘賞となりました。佐野君は「自信を持って参加しましたが、細かいところのミスが大きな減点になってしまい残念です」と語っていました。

## 全国グレコローマン選手権に出場：レスリング部

8月17日(金)～19日(日)まで大阪府堺市で行われた全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会に出場しました。本校からは、51kg級に3年4組柏木優京君と1年1組山際航平君、60kg級に2年2組矢部晴翔君、71kg級に1年4組鈴木大樹君、80kg級に1年4組西田衛人君、92kg級に2年3組小林健信君と2年3組篠原晃司君、125kg級に3年5組猪股健祐君と8名の選手が出場しました。インターハイでは、表彰台に上がる事が出来ず悔しい結果に終わってしまったのでリベンジに燃え、気合い十分で臨んだ大会でした。篠原晃司君・猪股健祐君・鈴木大樹君が初戦敗退。矢部晴翔君・山際航平君が2回戦敗退。山際君は相手が決勝に進出したため敗者復活戦に、柏木優京君と小林健信君



が準決勝まで進みましたが惜しくも敗れ3位決定戦に回りました。敗者復活戦に回った山際君は3試合を勝ち抜き3位決定戦に臨みましたが力尽き5位入賞。柏木君と小林君も3位決定戦は敗れてしまい2名とも5位入賞でした。久しぶりのメダル無しかと覚悟しましたが、1年生の西田衛人君が接戦となる試合も



ありましたが5試合を勝ち抜き決勝に進出しました。決勝戦の相手はインターハイで2位に入る強敵でしたが、相手に全く良いところを出さず4分2秒、テクニカルフォール勝ちで見事優勝しました。この大会での1年生の優勝は本校OBである文田健一郎先輩に次ぐ2人目になります。先輩達の良き伝統を受け継ぎ、繋げていきたいです。また、10月には国体もあるのでそちらでも良い結果が出せるように練習していきます。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail [info@nirasakith.kai.ed.jp](mailto:info@nirasakith.kai.ed.jp)